2004年10月28日

'04全日本ラリー選手権四輪駆動部門第6戦(最終戦)

CMSC埼玉　田口幸宏選手がCクラス初優勝でシリーズ2位獲得!!
CMSC道北　田中伸幸選手がBクラス優勝でシリーズ3位に!!

田口幸宏選手(埼玉) Cクラス

第1戦 4位、第2戦 3位、第3戦 7位、第4戦 3位、第5戦 2位

第6戦 優勝(写真)

シリーズランキング2位

田中伸幸選手(道北) Bクラス

第3戦 3位、第4戦 R、第5戦 2位

第6戦 優勝(写真)

シリーズランキング3位

'04全日本ラリー選手権四輪駆動部門第6戦(最終戦)「第32回M.C.S.C.ラリーハイランドマスターズ2004」が、10月23日(土)～24日(日)岐阜県大野郡宮村「飛騨位山スノーパーク」を中心に開催され、CMSCから6台が参加。Cクラスでは、CMSC埼玉の田口幸宏選手(三菱ランサーエボリューションVIII)がBクラスから'97年にステップアップ後8シーズン目にしての嬉しいCクラス初優勝を獲得し、シリーズポイントランキング2位を獲得。Bクラスでは、CMSC道北の田中伸幸選手(三菱ランサー)が今季初優勝を飾りシリーズポイントランキング3位を獲得し、CMSC勢が最終戦で2クラスを制覇し、有終の美を飾りました。

Cクラスシリーズポイントリーダーの奴田原文雄選手(三菱ランサーエボリューションVIII)とそれを追う田口幸宏選手、勝田範彦選手(スバル・インプレッサ)のチャンピオン争いが注目された最終戦。SS合計7本のオールグラベル路面でSSトータル距離62．264kmという設定で争われました。

■最終SSまで白熱したCクラストップ争い

24台のエントリーがあったCクラスには、CMSCから5台が参加。シリーズポイント3位につけているCMSC埼玉の田口幸宏選手は、序盤から上位につけ虎視眈々とトップを狙える好ポジションをキープ。奴田原文雄選手、勝田範彦選手らとのトップ争いを展開しました。速さと共に安定した走行を展開する田口幸宏選手は、ライト・トラブルで遅れた奴田原選手をナイトステージのSS4でかわしてトップに浮上すると、そのままトップをキープ。追いすがる勝田範彦選手との決着は最終SSまで白熱し、結局安定した走行をみせた田口幸宏選手がトップでフィニッシュ。Bクラスから'97年にステップアップ後8シーズン目にしての嬉しいCクラス初優勝を獲得しました。シリーズポイントランキングでは奴田原文雄選手が4位でフィニッシュしたため奴田原文雄選手のチャンピオンが決定。田口幸宏選手はシリーズポイントランキング2位となりました。

7台の参加となったBクラスでは、CMSCから1台が参加。前戦で2位とシーズン尻上がりに調子を上げてきているCMSC道北の田中伸幸選手(三菱ランサー)は、SS1でトップタイムをマーク。ナイトステージのSS4では2位を10秒以上引き離す速さをみせトップに浮上。同じクスコ・カラーの2位大嶋治夫選手(スバル・インプレッサ)の追撃を振り切って、見事に今季初優勝を飾りました。

シーズン途中で2戦がキャンセルされる波乱があった'04シーズンでしたが、CMSC勢が大きな活躍を見せ、最終戦ではCMSC選手が2クラス制覇で締めくくりました。国際化が進むラリー界にあって、来年もCMSC勢の活躍に大いに期待したいですね。

■ Cクラス優勝の田口幸宏選手(CMSC埼玉)

Cクラスで全日本ラリー初優勝となった
田口幸宏選手(CMSC埼玉)

「いやー、ホントに嬉しいです。Cクラスに上がってから、なかなか勝てずにいましたから、今回の優勝は格別です。最終SSまで決着が持ち越され、何が何でもトップをキープすることを念頭に走りましたがドキドキでした。チャンピオン獲得は奴田原選手に一歩及びませんでしたが、シーズンを通じてチャンピオンを争えたことは自信になりました。これまで応援して頂いた方々に感謝致します。来年も頑張りますので、よろしくお願い致します。ありがとうございました。」

■ Bクラスで優勝した田中伸幸選手(CMSC道北)

Bクラス優勝の田中伸幸選手(CMSC道北)

「最後まで気を抜けない大嶋選手とのバトルでしたが、最終戦で優勝を飾ることが出来て、本当に嬉しいです。台風の影響で道が荒れていて、クルマを壊さないように務めつつ、追い上げてくる大嶋選手を気にしながらの走行となりました。来シーズンも頑張りたいと思いますので、是非応援のほどお願い申し上げます。」

北島広美選手(千葉) Cクラス

第6戦 14位(写真)

杉村哲郎選手(浜松) Cクラス

第6戦 18位(写真)

川上弘三選手(浜松)/藤岡哲也選手(浜松) Cクラス

第2戦 14位、第3戦 14位、第4戦 15位
第6戦 R(写真)
左上:川上弘三選手、左下:藤岡哲也選手

福永修選手(大阪)/奥村久継選手(大阪) Cクラス

第1戦 R、第2戦 10位、第3戦 R、第4戦 7位、第5戦 R
第6戦 R(写真)
左上:福永修選手、左下:奥村久継選手
シリーズランキング13位

■大会での1コマ

往年の名車A73ランサー・レプリカカラーが
デモラン

サービスでランプポッドのライトチェックをする
北島広美選手(千葉)

各クラス優勝者によるシャンパンファイト

最後までトップを争った2人が仲良く記念撮影
田口幸宏選手(左:埼玉)と勝田範彦選手(右)

●'04全日本ラリー選手権四輪駆動部門
第6戦(最終戦)までのシリーズポイント(全6戦中5戦有効)

＊正式な選手権の順位認定は12月2日(木)のJAFモータースポーツ表彰式によって行われます。

<Cクラス>

順位	ドライバー	Point
1	奴田原　文雄	335
2	**田口　幸宏(CMSC埼玉)**	**305**
3	勝田　範彦	245
4	石田　雅之	211
5	石田　正史	170
6	鎌田　卓麻	155
13	**福永　修　(CMSC大阪)**	**18**
15	**荒井　信介(CMSC群馬)**	**10**
18	**宝田　芳浩(CMSC札幌)**	**7**

<Bクラス>

順位	ドライバー	Point
1	原口　真	470
2	大嶋　治夫	255
3	**田中　伸幸(CMSC道北)**	**220**
4	関根　正人	190
5	ドスコイ水野	145
6	斉藤　祐志	125
7	**石川　俊明(CMSC秋田)**	**105**

*ポイント基準は以下の通りです。(出走台数5台以上で成立)

■得点基準(クラス毎)

1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位
100	70	50	35	25	18	13	10	7	5

ラリーアートトップページに戻る ｜ CMSCトップに戻る

© Copyright by RALLIART INC.